

## 内なる対話～「意味ある世間話」となるや、否や?!～

堂本 彰夫

- ② 炙り出された「社会」の歪み、不都合?! 翻弄される「正義（愛?）」、蔓延る「諦観（無常?）」?!
- I：折角、年が明けて、新たな気持ちで取り掛かろうとした、この「内なる対話」ですが、再び新型コロナウイルスの猛威（オミクロン株の急激な拡大）の前で、出鼻をくじかれた形になっていますね！しかし、このままずーと、沈黙を続けるわけにはいきませんよね?!
- D：そうですね！語ること（だけ）の空しさを、感じないわけではないのですが、今の私達に出来ることは、それしかない?! しかも、そもそも、沈黙は、私達らしくないですからね?!
- I：では、そういうことで、まずは、その新型コロナウイルスについてですが、幸い? このオミクロン株は、感染力は強いものの、それだけでは重症化には至らないというような分析結果も出ているようなので（あくまでも現時点での話ですが!）、これまでの経験／知見と、新たな対応（ワクチンのブースター接種や治療薬の投与等）によって、その被害（この場合は、社会・経済的なもの）は、最小限に抑えられるのではないのでしょうか?!
- D：もちろん、そうであればよいのですが、今回は、感染力の強さによる感染者数の増大、しかも急激なそれが（どこの地域でも、過去最多となっている!）、予期せぬ事態（危機?）を迎えている！保健所の対応もそうですが、現在、特に医療機関や高齢者施設等におけるスタッフの感染や濃厚接触者の急激な増大が、本来ならば可能な治療や対応の遅れ（パニック?）を生んでいる?!
- I：そうですね！けれども、それらについては、症状の程度に応じて、これまでの対応を変えればよいということ（2類から5類への変更も含めて?）、隔離や待機期間の短縮とか、状況が変わりつつもありますよ?! それによって、実質的な医療／療養体制の逼迫（崩壊?）も防げる?! それは、今回のオミクロン株の特性によるもので、一面、不幸中の幸い? というところかもしれませんね?!
- D：確かにね！とは言え、そうした対応は是非行われて欲しいのですが、一方で、これまで見えていなかったものが、これをきっかけとして（偶然にも?）見えてきた?! ある意味、見たくなかったものが見えてきた?! むしろ、私は、今回は、そのことが気になった? そういうことでもあります!
- I：例えば、それは、かの「水際対策」においてですね? いくら空港等で、出入国の管理を厳しくしたところで、自国の? 米軍基地では、まったく、そのようにはなされていなかった?! そこから、オミクロン株が流入した?! それが、急激な拡大の発端となった?! そういうことですよ?! 何とも情けない話ですが、そういう状況（関係）が、一方で、厳然とある?!
- D：そうですね！確かな、ある種の「社会」の歪み、不都合が、そこに炙り出されてしまった?! そういうことかと思いますが、しかし、それは、ほとんどが、「やり場のない怒り」、「どうしようもないもの」となっている?! まさに我々は、そうした状況（関係）の中で生きている?! かの「拉致問題」、「領土問題」等も、まさにそういう状況（関係）の中で浮遊している?!
- I：本当は、こうであって欲しいと思えるものが、実際には、そうならない! ならない! 何とも歯痒い（悔しい!）ことですが、だから一方で、仕方がない! であれば、可能な限り見たくない! そういうことにならざるを得ない?! しかも、それを、大きな声では言えない? そういう意味では、我々は、「正義（愛?）」と「諦観（無常?）」の中で生きている?! そうとも言えますよね?!
- D：私の言い方では、現実の生活には、「生」の二重構造（ジレンマ?）がある?! そこでは、「正義（愛?）」が翻弄され（時には対立する?）、「諦観（無常?）」が蔓延る?! それが、我々の「生」なのではないか?! もちろん、それを超克しようという動きもあります（先号の「ゆ」のように?）?! そこに、何らかの突破口、具体的で、実現可能な解決への道を探し出そうという思いや行動のことですが、それにしても、単なる「正邪／善悪」（の主張）だけでは、何ともならないということですよ?! （つづく）